

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 なとり

コード番号 2922 URL <http://www.natori.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 名取 三郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員業務管理本部長 (氏名) 小林 眞

TEL 03-5390-8111

四半期報告書提出予定日 平成20年8月13日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	7,356	—	135	—	138	—	2	—
20年3月期第1四半期	7,800	△0.3	405	△12.3	412	△11.8	236	△12.8

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
21年3月期第1四半期	0.14		—	
20年3月期第1四半期	16.15		15.26	

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
21年3月期第1四半期	23,290		14,276		61.2	949.04		
20年3月期	23,954		14,334		59.8	952.91		

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 14,276百万円 20年3月期 14,334百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	15,400	△1.4	440	3.5	510	15.1	210	△23.6	13.96
通期	31,800	1.2	1,000	12.0	1,100	20.6	650	24.5	43.21

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

〔詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 15,532,209株 20年3月期 15,532,209株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 489,478株 20年3月期 489,458株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 15,042,747株 20年3月期第1四半期 14,674,619株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・上記に記載されている予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における国内経済は、原油価格の高騰によるガソリンをはじめとする製品価格の上昇や原材料価格の高騰に伴う食料品の価格上昇があり、個人消費も厳しさを増しております。また、企業収益の圧迫を受け、民間設備投資の抑制傾向が見られ、景気回復は足踏み状態から後退が懸念される状況となっております。

加工食品業界・小売業界としては、売場のボーダレス化が進み、業種業態を越えた企業間の販売競争がより激化しております。また、食品衛生管理に関する諸問題を受け、食品各社では、これまでに以上に安全・安心への取り組みが要請されております。

このような状況のもと、当社グループは、従来より取り組んできた2カテゴリー9ジャンルの販売戦略を更に推進し、新製品開発や新ジャンル開拓を積極的に取り組み、新たな中期経営計画「イノベーション63～新生なとりへの道～」（3カ年計画）をスタートさせ、企業価値の向上を図っております。当連結会計年度（平成21年3月期）はその初年度となっており、4つの経営目標「新たなおつまみ市場の創出」「自己革新による収益力の強化」「グローバル化の一層の推進」「社会的責任～安全・品質・環境～の重視」の達成に向けて本部ごとのマニフェスト（公約）を明示し、グループを挙げて中期経営計画「イノベーション63～新生なとりへの道～」に取り組んでおります。

当第1四半期連結会計期間における売上高の状況は、世界的に権威のある食品品評会のモンドセレクションにおいて、「一度は食べていただきたい熟成チーズ鱈」と「濃厚チーズ鱈」が2年連続で金賞を受賞し、「チーズ鱈 Grand」と「一度は食べていただきたい粗挽きサラミ」が新たに2008年の金賞を受賞するなどプレミアム製品の市場認知度が高まり、主力のチーズ鱈製品の売上は堅調に推移いたしました。さらに、ボトルの容器に入れた製品のラインアップ充実により、いか製品も堅調に推移いたしました。一方で、大手コンビニエンスでの売上低迷及び製品規格の見直しに伴う切り替えロスもあり、いか以外の水産加工製品や畜肉加工製品が減収となり珍味売場での売上は減収となりました。

珍味外売場では、よりお客様の視点で製品開発を進めておりますが、チルド製品、小物菓子製品が市場投入に遅れがあり減収、素材菓子製品では、梅製品の売上減少が響き減収となりました。

また、平成19年2月より所有不動産を有効活用するために賃貸事業を開始しており、当第1四半期連結会計期間においては、16百万円の売上を計上しております。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の連結売上高は、73億56百万円（前年同四半期比5.7%減）となりました。

製品群別の売上高の状況は、下記の通りであります。

科 目	期 別	当四半期累計		前四半期累計		差引増減額・率	
		平成21年3月期 第1四半期		平成20年3月期 第1四半期		増減額	
		金 額	構成比	金 額	構成比	増減額	増減率
珍味売場	水産加工製品	3,933,790	53.5	4,154,958	53.3	221,168	5.3
	畜肉加工製品	1,051,141	14.3	1,089,563	14.0	38,422	3.5
	酪農加工製品	901,173	12.2	877,114	11.2	24,059	2.7
	農産加工製品	254,816	3.5	250,044	3.2	4,772	1.9
	すなっくな珍味製品	4,916	0.1	28,252	0.4	23,336	82.6
	その他製品	501,986	6.8	549,932	7.0	47,945	8.7
	計	6,647,824	90.4	6,949,865	89.1	302,041	4.3
珍味外売場	小物菓子製品	162,006	2.2	233,743	3.0	71,736	30.7
	素材菓子製品	407,610	5.5	448,822	5.8	41,212	9.2
	チルド製品	123,348	1.7	151,181	1.9	27,833	18.4
計	692,965	9.4	833,747	10.7	140,781	16.9	
珍味売場・珍味外売場・計		7,340,789	99.8	7,783,612	99.8	442,823	5.7
賃貸収入		16,130	0.2	16,766	0.2	636	3.8
売上合計		7,356,920	100.0	7,800,379	100.0	443,459	5.7

（注）上記金額には、消費税等は含まれておりません。

		当第1四半期 〔自平成20年4月1日 至平成20年6月30日〕		前第1四半期 〔自平成19年4月1日 至平成19年6月30日〕		差引増減額・率	
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
連 結	売上高	7,356	100.0	7,800	100.0	443	5.7
	売上総利益	2,354	32.0	2,554	32.7	199	7.8
	販管費	2,219	30.2	2,148	27.5	70	3.3
	営業利益	135	1.8	405	5.2	269	66.5
	経常利益	138	1.9	412	5.3	274	66.5
	第1四半期純利益	2	0.0	236	3.0	234	99.1

利益面では、製品規格見直しに伴う一時的な売上の減少に加え、原油価格の高騰を受け工場燃料費用の増加や原材料価格の高騰もあり、売上総利益が23億54百万円（前年同四半期比7.8%減）となりました。

販売費及び一般管理費は、四半期決算導入に伴い年度決算に準じた会計処理を行ったことによる費用の増加及び製品規格見直しに伴う切り替え費用の増加や販売促進費の増加、物流費用の増加等により22億19百万円（同3.3%増）となり、営業利益1億35百万円（同66.5%減）、経常利益1億38百万円（同66.5%減）ともに大幅な減益を余儀なくされました。さらに、当社所有地の有効活用を図るため、賃貸用住宅の建設計画に伴う既存建物の固定資産除却損1億37百万円を特別損失で計上したこともあり、四半期純利益は2百万円（同99.1%減）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の連結総資産は232億90百万円（前連結会計年度末比6億64百万円減）となりました。

資産の部では、受取手形及び売掛金やたな卸資産、建物及び構築物の減少、現金及び預金や機械装置、投資有価証券の増加が主な要因となります。

負債の部では、短期借入金や未払金の減少、支払手形及び買掛金の増加などにより負債合計は90億14百万円、純資産の部では利益剰余金の減少により、純資産合計が142億76百万円となりました。なお、自己資本比率は前連結会計年度末比1.5ポイント増の61.3%となっております。

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1億12百万円増加し、8億39百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、8億40百万円となりました。これは主に、売上債権が3億84百万円減少したこと、仕入債務が3億6百万円増加したことによるものです。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、マイナス80百万円となりました。これは主に、工場における生産設備の購入等で有形固定資産の取得による支出が67百万円あったことによるものです。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、マイナス6億47百万円となりました。これは主に、長期・短期借入金を5億77百万円返済したことによるものです。

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
21年3月期第1四半期	840	80	647	839
20年3月期第1四半期	221	440	257	1,222
前年同期比増減	618	360	390	382
20年3月期	430	1,341	801	726

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期連結累計期間	15,400	( 1.4)	440	( 3.5)	510	( 15.1)	210	( 23.6)
通 期	31,800	( 1.2)	1,000	( 12.0)	1,100	( 20.6)	650	( 24.5)

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

当期の連結業績見通しにつきましては、以下の諸施策により当初計画通りの達成を目指してまいります。

販売面では、より原料や製法にこだわった付加価値の高い“プレミアムおつまみ”の充実に向け、食品総合ラボラトリーを中核にグループ総力を挙げて顧客志向に基づいた新製品開発に取り組んでまいります。

利益面につきましても、生産設備の省人化による生産性の向上、安全・安心への取り組み強化に重点を置いた設備投資及び生産ラインの合理化、長引く原料高や原油価格高騰への対応として、新原料開発、代替原料調達等によるグローバル展開や製品規格の見直し、市場動向に合わせた適正在庫の維持・管理や配送効率の向上及び一元管理によるコストコントロールの徹底、ローコストオペレーションによる販売費及び一般管理費のコストダウンに努め、一層の利益率改善を図ってまいります。平成20年5月16日公表の平成21年3月期連結業績予想に変更はございません。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当第1四半期連結会計期間より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ4,236千円減少しております。

(4) 追加情報

当社グループは、法人税法の改正を契機として資産の利用状況を見直した結果、機械及び装置の主な耐用年数を8～9年から10年に変更しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ3,012千円増加しております。

5 . 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,146,165	1,033,854
受取手形及び売掛金	4,261,266	4,646,894
商品及び製品	615,371	711,518
仕掛品	465,987	488,197
原材料及び貯蔵品	3,308,150	3,251,204
その他	339,315	524,718
貸倒引当金	11,063	13,591
流動資産合計	10,125,192	10,642,796
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,481,531	6,724,963
土地	4,268,486	4,268,486
その他(純額)	824,718	770,387
有形固定資産合計	<sup>1</sup> 11,574,736	<sup>1</sup> 11,763,837
無形固定資産	134,203	133,157
投資その他の資産	<sup>2</sup> 1,456,698	<sup>2</sup> 1,415,184
固定資産合計	13,165,637	13,312,179
資産合計	23,290,830	23,954,976

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	3,131,438	2,823,814
短期借入金	2,162,000	2,664,000
1年以内返済予定の長期借入金	300,668	300,668
未払法人税等	21,389	177,067
賞与引当金	213,127	290,394
役員賞与引当金	2,500	14,000
その他	1,051,527	1,178,293
<b>流動負債合計</b>	<b>6,882,651</b>	<b>7,448,238</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,226,152	1,301,319
役員退職慰労引当金	219,910	203,710
退職給付引当金	23,620	23,056
負ののれん	32,401	34,941
その他	630,005	609,267
<b>固定負債合計</b>	<b>2,132,089</b>	<b>2,172,295</b>
<b>負債合計</b>	<b>9,014,740</b>	<b>9,620,534</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,975,125	1,975,125
資本剰余金	2,290,938	2,290,938
利益剰余金	10,408,215	10,496,424
自己株式	432,041	432,025
<b>株主資本合計</b>	<b>14,242,237</b>	<b>14,330,462</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	33,853	3,979
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>33,853</b>	<b>3,979</b>
<b>純資産合計</b>	<b>14,276,090</b>	<b>14,334,441</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>23,290,830</b>	<b>23,954,976</b>

## (2) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	7,356,920
売上原価	5,002,091
売上総利益	2,354,828
販売費及び一般管理費	1 2,219,032
営業利益	135,796
営業外収益	
受取配当金	7,233
受取賃貸料	10,040
その他	10,077
営業外収益合計	27,351
営業外費用	
支払利息	13,661
賃貸原価	10,939
その他	24
営業外費用合計	24,624
経常利益	138,523
特別利益	
固定資産売却益	328
貸倒引当金戻入額	1,124
特別利益合計	1,453
特別損失	
固定資産除却損	138,522
特別損失合計	138,522
税金等調整前四半期純利益	1,454
法人税等	593
四半期純利益	2,047

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

当第1四半期連結累計期間	
(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	1,454
減価償却費	150,513
負ののれん償却額	2,540
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,127
賞与引当金の増減額(は減少)	77,267
役員賞与引当金の増減額(は減少)	11,500
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	16,200
退職給付引当金の増減額(は減少)	563
受取利息及び受取配当金	7,455
支払利息	13,661
固定資産売却損益(は益)	328
固定資産除却損	138,522
売上債権の増減額(は増加)	384,486
たな卸資産の増減額(は増加)	78,405
仕入債務の増減額(は減少)	306,561
未払消費税等の増減額(は減少)	144,705
その他	156,147
小計	978,706
利息及び配当金の受取額	7,706
利息の支払額	9,489
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	136,709
営業活動によるキャッシュ・フロー	840,214
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	67,063
投資有価証券の取得による支出	8,120
その他	4,941
投資活動によるキャッシュ・フロー	80,125
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の返済による支出	502,000
長期借入金の返済による支出	75,167
自己株式の取得による支出	16
配当金の支払額	70,595
財務活動によるキャッシュ・フロー	647,778
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	112,310
現金及び現金同等物の期首残高	726,838
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 839,148

当第1四半期連結会計期間より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

当社及び連結子会社は、食品製造販売事業を主な事業内容としており、当該事業区分の売上高及び営業利益は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める割合が90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

海外売上高はないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結会計（累計）期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

該当事項はありません。

## 6. その他の情報

### (1) 注記事項

#### (四半期連結貸借対照表関係)

当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
1. 有形固定資産の減価償却累計額 9,936,060 千円	1. 有形固定資産の減価償却累計額 9,886,910 千円
2. 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額 投資その他の資産 48,007 千円	2. 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額 投資その他の資産 46,606 千円

#### (四半期連結損益計算書関係)

##### 第1四半期連結累計期間

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
1. 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
販売促進費	449,984 千円
給与手当	687,501 千円
賞与引当金繰入額	119,454 千円
役員退職慰労引当金繰入額	16,200 千円

#### (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	
(平成20年6月30日現在)	
現金及び預金勘定	1,146,165 千円
預入期間が3カ月超の定期預金	307,016 千円
現金及び現金同等物	<u>839,148 千円</u>

(2) 生産実績

当第1四半期連結会計期間における使用原材料別生産実績は、次のとおりであります。

区分	生産高(千円)
水産加工品	2,324,022
畜肉加工品	718,256
酪農加工品	649,984
農産加工品	457,405
その他加工品	198,220
合計	4,347,889

(注) 1. 金額は、実際原価によるものであります。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注実績

当社グループ(当社及び連結子会社)は受注見込による生産方式をとっておりますので、受注高及び受注残高について記載すべき事項はありません。

(4) 販売実績

当第1四半期連結会計期間における販売実績は、次のとおりであります。

区分	販売高(千円)	
珍味 売場	水産加工製品	3,933,790
	畜肉加工製品	1,051,141
	酪農加工製品	901,173
	農産加工製品	254,816
	すなっくな珍味製品	4,916
	その他製品	501,986
	小計	6,647,824
珍味外 売場	小物菓子製品	162,006
	素材菓子製品	407,610
	チルド製品	123,348
小計	692,965	
珍味売場・珍味外売場計	7,340,789	
賃貸収入	16,130	
合計	7,356,920	

(注) 1. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	当第1四半期連結会計期間	
	販売高(千円)	割合(%)
(株)高山	752,215	10.2

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

「参考情報」

前第1四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 前四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)
	金 額
売上高	7,800,379
売上原価	5,246,357
売上総利益	2,554,021
販売費及び一般管理費	2,148,592
営業利益	405,429
営業外収益	
1. 受取賃貸料	7,653
2. その他	18,352
営業外収益合計	26,005
営業外費用	
1. 支払利息	8,986
2. その他	9,545
営業外費用合計	18,532
経常利益	412,903
特別利益	
地域雇用奨励金	5,000
特別利益合計	5,000
特別損失	
固定資産除却損	10,385
特別損失合計	10,385
税金等調整前四半期純利益	407,517
税金費用	170,557
四半期純利益	236,960

## (2) (要約) 前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
区 分	金 額
・営業活動によるキャッシュ・フロー	
1. 税金等調整前四半期純利益	407,517
2. 減価償却費	129,908
3. 受取利息及び受取配当金	7,064
4. 支払利息	8,986
5. 売上債権の減少額	267,008
6. たな卸資産の増加額	28,141
7. 仕入債務の増加額	334,424
8. 未払消費税等の減少額	29,197
9. その他	326,438
小 計	757,003
10. 利息及び配当金の受取額	7,075
11. 利息の支払額	8,299
12. 法人税等の支払額	533,922
営業活動によるキャッシュ・フロー	221,857
・投資活動によるキャッシュ・フロー	
1. 有形固定資産の取得による支出	427,058
2. 投資有価証券の取得による支出	7,790
3. その他	5,880
投資活動によるキャッシュ・フロー	440,729
・財務活動によるキャッシュ・フロー	
1. 短期借入金の減少額	140,000
2. 長期借入金の減少額	48,767
3. 親会社による配当金の支払額	68,725
4. その他	18
財務活動によるキャッシュ・フロー	257,510
・現金及び現金同等物の減少額	476,382
・現金及び現金同等物の期首残高	1,698,476
・現金及び現金同等物の四半期末残高	1,222,094

### (3) セグメント情報

#### 【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結会計期間（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

当社及び連結子会社は、主に食品加工品事業を主な事業内容としており、当第1四半期連結会計期間における当該事業区分の連結売上高及び営業利益は、いずれも全セグメントに占める割合が90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

#### 【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結会計期間（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

#### 【海外売上高】

前第1四半期連結会計期間（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

海外売上高はないため、該当事項はありません。